

雲南省概要

2025年6月現在

1. 概況

(1) 面積: 39.4万km² (日本より少し大きい)

(2) 人口: 4,655万人 (2024年末)

(3) 地理・歴史

● 雲南省東部は雲貴高原の西側にあたり、西北部はチベット高原へと続く山地で怒江、金沙江、瀾滄江(メコン川)の3本の大河が流れ、西南部はミャンマー、ラオスに向かって次第に高度が下がっている。古くは滇(テン)王国、秦の中国統一から三国時代の蜀を経た後、南詔国、大理国と独立していたが、元のフビライによって版図に組み込まれた。

● 省人口の3分の1が少数民族。少数民族文化等を活用した石林、大理、麗江、シーサンパンナが有名。

● ミャンマー、ラオス、ベトナムと国境を接し、ラオス、ミャンマー、タイ、カンボジア、マレーシア、ベトナム、バングラデシュが昆明に総領事館を置いている。



昆明近郊の石林



大理



世界遺産 麗江

2. 政治情勢

(1) 書記: 王寧(中央委員)

- ・1961年生、遼寧省出身。
- ・長く建設部で勤め、福建省組織部長、福州市書記、福建省長を勤めた後、2022年1月より現職。

(2) 省長: 王予波(中央委員)

- ・1963年生、河南省出身。
- ・長く青海省で勤め、西寧市長、省秘書長、副省長、雲南省副書記、副省長を経て、2021年1月より現職。



3. 経済と産業

(1) 経済データ(2024年):

- GDP: 3兆1,534億元(前年比3.3%。約63兆円(20円/元))
- 第一次産業総生産額: 4,192億元(構成比13.3%)、第二次産業総生産額: 1兆330億元(同32.8%)、第三次産業総生産額: 1兆7,011億元(同53.9%)。
- 貿易総額は2,487億元(前年比3.9%減)。

(2) 主な産業

- タバコ、電力、非鉄金属、電子情報、食品、花卉。

(3) 主要動向

- 2005年 中国ASEAN・FTAが発効
- 2019年 自由貿易試験区に指定
- 2021年 中国・ラオス鉄道が開通
- 2025年 3月に習近平総書記が雲南省訪問。「思想を解放し、改革とイノベーションを行い、奮起向上し、問題を見逃さず真剣にやり、中国式現代化の過程において、雲南省の新たな局面を切り拓け」と指示

(4) 最近のトピック

- 常春と言われる温暖な気候を活かした果物・花等の栽培が盛ん。昆明市にはアジアでも最大規模の花卉市場が存在。
- 中国・ミャンマー間のパイプラインは2013年にガス用、2017年に石油用が開通している。2021年には中国・ラオス鉄道が開通し、2023年より昆明・ラオスの首都ビエンチャン間を直通列車も走っている。

4. 日本と雲南省の関係

(1) 在留邦人数: 70名(2024年10月現在)

(2) 日系企業数: 36社(2024年10月現在)

(3) 友好都市:

雲南省と岩手県、昆明市と藤沢市、高山市、麗江市と高山市、大理市と美馬市

(4) 直航便: 昆明ー成田(週1便、中国東方航空)